

1 発表項目

(1)新幹線開業効果について(資料1)

●新幹線開業前と開業後の効果について

市内の観光施設や宿泊施設、交通事業者を対象に、4 月 10 日から 12 日の期間でヒアリングを実施し、新幹線開業前と開業後の様子をまとめました。

観光施設関係では、ハピルス館、タケフナイフビレッジは客数が 2 割程度増加。特に関東圏からのお客さんが増えています。ゆかりの館は来場者が 4.5 倍になりました(昨年 3 月比)。団体のお客さんが多く、中京圏からの来訪者が増えています。タクシー利用については、新幹線利用者のタクシー利用が増えました。特に日野川の東側エリアでは利用者数が増えています。そこからナイフビレッジ、和紙の里、紫式部公園に行っています。

道の駅越前たけふはオープンから約 1 年を経過しました。新幹線開業前は地元の人が車で来ることがほとんどでしたが、開業後は駅からのお客さんが増えており、平日はビジネス客、土日は観光客が多くなっています。中京圏からのお客さんが多く、国道 417 号の開通の効果や、様々な観光バスの立ち寄りの効果があると思います。特に休日の来場者は 3,000 人近くから 5,000 人近くに増えており、売り上げも連動して伸びています。

観光案内所も、問い合わせが増えていきます。ハピラインふくいの武生駅前にある観光案内所への問い合わせは減っていますが、大河ドラマ館へ行く人の問い合わせは増えています。

総じて、新幹線開業もあり交通事業者、飲食店は、まず日野川よりも東側のエリアに人が来ており、道の駅については新幹線の開業効果が表れていると考えています。

新幹線開業、大河ドラマ、これを絡めて様々な誘客をこれから展開していき、秋にはディステーションキャンペーンも行われるので、全体としてその効果を継続し、その効果を少しでも高めるべく、今回のいろんな調査を踏まえ、迅速に対応、対策、政策、事業を展開していきたいと思っています。

●市内公共交通機関の状況

3 月 16 日から、越前たけふ駅から市内の主要ホテルあるいはハピラインふくい武生駅を経由して大河ドラマ館まで運行するシャトルバスを 1 日 500 円で 18 便運行しています。

大河ドラマ館がオープンした 2 月 23 日から 3 月 15 日の新幹線開業前までは無料で運行しており、利用者は 538 人でした。

3 月 16 日から 1 人 500 円になり、1 か月間で 1,365 人、16 日から 31 日までの 2 週間で 1,011 人の利用でした。時間帯の様子としては、乗車の 7 割は 9 時台から 16 時台の 6 便で占めています。これから様子を見て、全体の公共交通ネットワーク、二次交通、市民の足も含めた二次交通のネットワークの材料として状況を見守っていき周知も図っていききたいと思っています。

各停留所での乗降者数については、越前たけふ駅から乗車した方の多くが、ハピラインふくい武生駅や大河ドラマ館での乗降が多く、市内ホテル宿泊者の利用もあります。今後、利用動向をしっかりと見ていききたいと思っています。

先日の 4 月 20 日、21 日のサンドームでのコンサートの際に、福井鉄道がシャトルバスを 1 乗車 500 円で運行されました。360 人ほどの利用があったと福井鉄道から伺っており、そのうちの 9 割は新幹線で越前たけふ駅まで来られて、駅からサンドームまでシャトルで往復したという方だそうです。

越前たけふ駅や道の駅の駐車場については、新幹線開業後、想定以上のご利用を頂いており、反響があります。特に週末が大変混在しています。開業直後はイベント開催と重なったこともあって、駐車場が満車となり、利用方法を徹底す

べく、道の駅の西側駐車場とパークアンドライドの東側駐車場をしっかりと仕分けをして案内をしています。

新幹線や高速バス利用者が優先して駐車していただくよう「優先駐車場」の看板設置や、交通誘導員の配置などの対応を行った結果、現在は週末を含め、新幹線や高速バス利用者が駐車できないといった状態は解消されています。

明日からのゴールデンウィークは、通常の週末の状況を超えた混雑が予想されるため、いくつかの対応をしました。駐車場の混雑状況のライブ映像を市のホームページで公開し、駐車場への案内看板の設置や誘導員をさらに配置しました。

さらに、臨時駐車場も確保いたしました。1 つは道の駅駐車場南側の交流広場に新幹線、高速バス利用者のための臨時駐車場として、50 台分準備しました。また、県道武生インター線沿いに福井新聞社折込みセンター横に、4 月 27 日から 5 月 6 日まで約 95 台の臨時駐車場を確保し、満車の場合に誘導する予定となっています。

いずれにしても、混雑が予想されるので、新幹線や高速バスを利用する方には、余裕をもってお越しいただくように協力をお願いしたいと思っています。

(2)「光る君へ」越前編 放送開始に向けて(資料 2)

5 月 26 日からいよいよ越前編の放送がスタートし、越前国府や松原客館がドラマに登場します。越前市の認知度向上の絶好の機会と捉え、様々な取り組みを実施し、越前市の歴史、文化を楽しんでいただけるようにしたいと思っています。

まず、大河ドラマの撮影スタジオのセットに関する公開セミナーを開催します。越前国の暮らしや文化を学び、美術スタッフから直接、こだわりや魅力について学ぶことができる貴重な機会です。国府発掘調査を今年度も 5 月～7 月にかけて実施します。越前国府への関心を高めたいと思っています。

6 月 16 日には吉高由里子さんと岸谷五郎さんを招いて、パブリックビューイングを開催します。番組を見た後、トークショーを開催していただく予定です。

また、武生公会堂記念館や紙の文化博物館での企画展示も予定しており、源氏物語、平安文化にちなんだ趣向を凝らした内容となっています。

宇治市や大津市とともにイベントも予定しています。職員同士も連携しながらやっており、謎解きイベント、まち巡りイベントなど様々な仕掛けをして相互に PR を強化していきたいと思っています。

(3)デジタルツインで国府発掘がよみがえる！(資料 3)

越前国府の所在地解明に向けて、昨年度から 5 年計画で調査を進めており、令和 5 年度の本興寺境内での発掘調査では、国府に関連する区画溝とみられるものが発見されました。

遺構は保護しないといけないため、埋め戻ししており、現場に来られた方が実際の遺構を見ることができない状況にあります。その遺構の様子を見ていただきたいと考えていたところ、産業総合研究所(産総研)、Code for Fukui 代表の福野氏の絶大なる協力により、デジタルツインの技術で遺跡を再現し、AR(拡張現実)と VR(仮想現実)で可視化することができました。

デジタルツインは、現実空間の情報を取得し、サイバー空間内に現実空間の環境を再現する技術です。遺跡の AR 映像は、調査地に行けばスマホで二次元コードからアクセスして体感できます。VR 映像は、VR ゴーグルを使って実寸大の遺跡をどこでも体験できます。

大河ドラマ館から、発掘現場、公会堂記念館、紫ゆかりの館と色々ありますので、紫式部と越前国府に関連した展示といった観光客が流れる仕組みを作っていきたいと思っています。越前市の歴史に触れる機会を市民の皆様にも提供したいと思っています。

4 質疑応答

(1)発表項目1について

【質疑】

調査結果を踏まえて、開業効果といった面で全体的にどう評価しているか？

【回答】

いろんな効果が出始めているといったところだと思っています。

新幹線の開業効果、417 号の開通、大河ドラマなどの様々な効果で我々が来てほしいと思っているようなところのお客さんは増えつつあります。さらに広げていく努力をしています。

【質疑】

観光消費額の拡大という面で、滞在時間を伸ばすために宿泊を増やしていくといった点については？

【回答】

越前市は、宿泊できる数が絶対的に足りないので、そのための対策は行っています。新幹線開業で少しずつお客さんが増えてきており、需要が見えてくると、民間投資を支援することになります。営業活動していると、越前市は注目が集まっており、関心が高まっていることがわかります。特に質の高い宿泊施設、長く滞在するような人の受け皿をしっかり作っていきたいと思っています。

【質疑】

第 2 駐車場が駅から結構な距離があると思うのですが、どれくらいかかるのか？

【回答】

距離にすると約 950 メートルで、ゆっくり歩いて約 15 分です。

【質問】

利用者区別については誘動員が声掛けして聞くのか？

【回答】

その通りです。まず看板で表示しており、駐車場に入る時に誘導員が確認をしています。

【質問】

駐車場無料というのは変えるつもりなのか？

【回答】

今の段階では有料にするつもりはありません。新幹線利用促進の目的で作っているので、有料化で台数を減らすのは本末転倒だと考えています。

(2)発表項目2について

【質問】

パブリックビューイングはどれぐらいの参加を見込んでいるのか？

【回答】

定員は 1,000 人で、現在 4,000 人を超えており、約 4 倍の申し込み状況となっています。

発表項目3について

【質問】

直近で AR・VR を体験できるイベントはあるか？

【回答】

今後、市民の方にも体験できるような機会を検討しています。改めて報道連絡票などでお知らせします。